

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2018-40638(P2018-40638A)

【公開日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2016-173921(P2016-173921)

【国際特許分類】

G 01 L 19/06 (2006.01)

G 01 L 9/00 (2006.01)

【F I】

G 01 L 19/06 Z

G 01 L 9/00 303 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月21日(2018.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

圧力媒体の圧力を検出する圧力センサであって、

周辺よりも窪んだ凹部(11)と、前記凹部が形成されることで周辺よりも薄肉とされた薄肉部(12)と、を有するセンサ基板(10)と、

前記凹部の側面(13)の少なくとも一部と、前記薄肉部の一面である前記凹部の底面(14)とに設けられ、前記圧力媒体に含まれる異物の付着を抑制するための保護膜(30)と、を備えており、

前記保護膜が形成された前記凹部と前記薄肉部が前記圧力媒体中に配置されるものであり、前記薄肉部が前記圧力媒体の圧力を検出する機能を有しており、

さらに、前記底面に凹凸が設けられておらず、前記側面の少なくとも一部に設けられた凹凸に、前記保護膜として前記圧力媒体の液体に対する撥液性を有する撥液膜が設けられた状態でロータス効果を発揮する付着防止部(13a)を備えている圧力センサ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために本開示は、

圧力媒体の圧力を検出する圧力センサであって、

周辺よりも窪んだ凹部(11)と、凹部が形成されることで周辺よりも薄肉とされた薄肉部(12)と、を有するセンサ基板(10)と、

凹部の側面(13)の少なくとも一部と、薄肉部の一面である凹部の底面(14)とに設けられ、圧力媒体に含まれる異物の付着を抑制するための保護膜(30)と、を備えており、

保護膜が形成された凹部と薄肉部が圧力媒体中に配置されるものであり、薄肉部が圧力媒体の圧力を検出する機能を有しており、

さらに、底面に凹凸が設けられておらず、側面の少なくとも一部に設けられた凹凸に、

保護膜として圧力媒体の液体に対する撥液性を有する撥液膜が設けられた状態でロータス効果を発揮する付着防止部（13a）を備えていることを特徴とする。